

91R15054k

潜熱回収型ガス給湯機用ドレン排水ガイドシステム
施工要領書

2024 年 8 月 2 日
株式会社十川ゴム
徳島工場 技術課

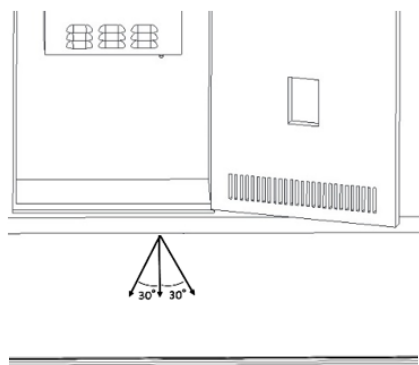


禁止

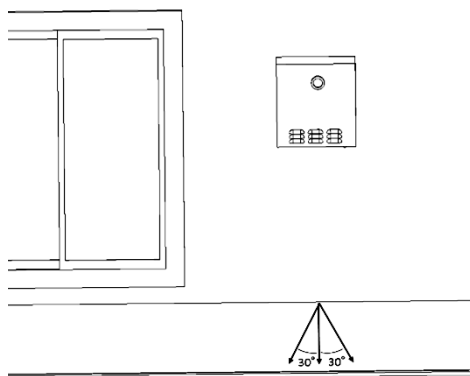
施工上の禁止事項

- ・ 潜熱回収型給湯機ドレン排水ガイド及びドレン排水ガイド蓋は潜熱回収型給湯機ドレン排水部材ホルダーベース近傍部を除き接着剤等で固定しないで下さい。
- ・ 排水路を傷つけないで下さい。
- ・ 製品を変形させないで下さい
- ・ 潜熱回収型給湯機ドレン排水ガイド及びドレン排水ガイド蓋は1本の製品で施工して下さい。
- ・ 潜熱回収型給湯機ドレン排水ガイド及びドレン排水ガイド蓋、潜熱回収型給湯機ドレン排水部材ホルダーベース及びキャップ、潜熱回収型給湯機P Sチューブの接着には指定接着剤以外は使用しないで下さい。
- ・ 雰囲気温湿度が常時高温多湿となる環境下では設置しないで下さい。
- ・ 雨天日は、施工を行なわないで下さい。
- ・ 施工後製品に無理な荷重をかけないで下さい。
- ・ 寒冷地地域、準寒冷地地域には設置できません。
- ・ 施工要領書の要領以外での方法で施工は行わないで下さい。
- ・ 潜熱回収型給湯機ドレン排水ガイドは、パイプシャフト、給湯機設置壁面から垂直及び角度 ± 30 度以内の角度で設置を行なって下さい。(下図参照)
ただし、下図※1のように給湯機が設置されている場合は、壁面に沿って側溝までドレン排水ガイドを設置して下さい。

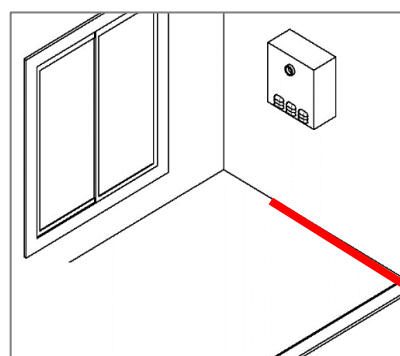
＜パイプシャフト側＞



＜バルコニー側＞



※1





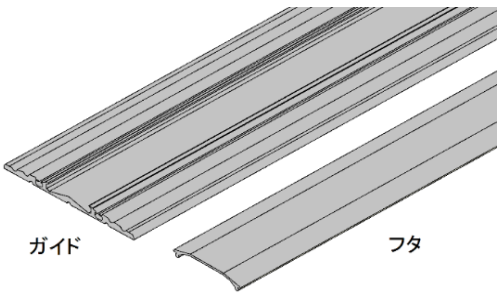
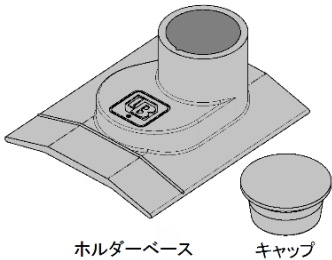
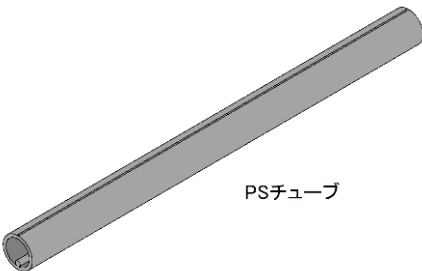
施工上の注意事項

- ・ 施工場所に凹凸があると排水出来ない場合がありますので、平らな場所に設定下さい。
施工場所の勾配が 1/100 以上あるか水平器を用いて確認して下さい。
- ・ 施工場所が濡れたまま施工すると、接着不良の原因となります。
施工場所、潜熱回収型給湯機ドレン排水ガイド接着面に泥、砂、異物などがあるとはがれや接着不良の原因となります。
- ・ 汚れを取り除き、よく乾燥させてから施工して下さい。
- ・ 接着剤が製品の流水路に付着しない様に施工して下さい。
- ・ 潜熱回収型給湯機ドレン排水ガイド及びドレン排水ガイド蓋、潜熱回収型給湯機ドレン排水部材ホルダーベース及びキャップに異物の付着等、異常がないか確認して下さい。
- ・ 接着剤の塗りムラがあると凹凸が発生し、排水に悪影響を及ぼしますのでご注意下さい。
- ・ 接着工程時は専用接着剤記載の使用方法、注意事項に基づき施工して下さい。
- ・ 各接着箇所に適切な接着剤を使用して下さい。
- ・ 施工後は潜熱回収型給湯機ドレン排水ガイド蓋が閉まっていることを確認して下さい。
- ・ 共用廊下やバルコニーの意匠性、歩行の安全性確保等の確認及び潜熱回収型給湯機ドレン排水ガイド及びドレン排水ガイド蓋と床仕上げ材の配色について留意し施工して下さい。
- ・ 潜熱回収型給湯機ドレン排水ガイド及びドレン排水ガイド蓋を認知しやすくする必要がある場合は部材と床仕上げ材の明度差、輝度比が大きくなるよう留意して施工して下さい。

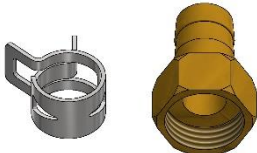
B L 保険について

- ・ 当該部品には、部品及び施工の瑕疵並びにその瑕疵に起因する損害に係る優良住宅部品瑕疵担保責任保険・損害賠償責任保険(=BL 保険)が付与されています。
- ・ 本施工要領書で記載された施工方法を逸脱しない方法で施工を行なったものは、優良住宅部品瑕疵担保責任保険・損害賠償責任保険の被保険者として、施工に関する瑕疵担保責任及び施工の瑕疵に起因する損害賠償責任を負う際には保険金の請求が可能です。
- ・ B L 保険制度の詳細については、一般財団法人ベターリビングのホームページ(<http://www.cbl.or.jp/>)をご覧ください。なお、B L 保険制度に関する質問は、一般財団法人ベターリビング(TEL 03-5211-0559)でもお受け致します。

●セット内容（グレー又はブラウン）

☐	ドレン排水ガイド 及び排水ガイド蓋 (各 2m 1 本)		 ガイド フタ
☐	ホルダーベース及 びキャップ (各 1 個)	ドレン排水ガイドと の接続に使用	 ホルダーベース キャップ
☐	PS チューブ (1.5m 1 本)	給湯機とホルダーベ ースの接続に使用	 PSチューブ
☐	注意喚起ラベル (1 枚)		 ドレンガイドに 物を置かない!! DO NOT PLACE ANY OBJECTS ON THE DRAIN GUIDE

●セット以外の必要部品

☐	PS チューブ専用継手 及びクランプ (各 1 個)		
--------------------------	----------------------------------	--	---

●その他準備いただくもの

☐	コニシ製ウルトラ多用途プレミアムソフト	ガイド及びガイド蓋、ホルダーベース接着に使用
☐	積水化学工業製エスロン接着剤 No. 73	ホルダーベースと PS チューブの接着に使用
☐	12 mm 板材	パイプシャフト側施工時、PS チューブ床面固定に使用
☐	片サドル 未来工業製 KT-8CN	パイプシャフト側施工時、PS チューブの板材への固定に使用
☐	台付サドル 未来工業製 VPS-13M、VPS-13G または VPS-13DB	バルコニー側施工時、PS チューブ壁面固定に使用
☐	ローラー	ガイド蓋とガイドを圧着時に使用
☐	ものさし	
☐	水準器	
☐	ハサミ	
☐	ニッパー	
☐	接着剤塗布用コテ	
☐	ビス	パイプシャフト側施工時片サドルと板材の床面固定に使用 バルコニー側施工時大月サドルの壁面固定に使用
☐	ドライバー	
☐	養生テープ	
☐	水 100ml 程度	通水確認時に使用

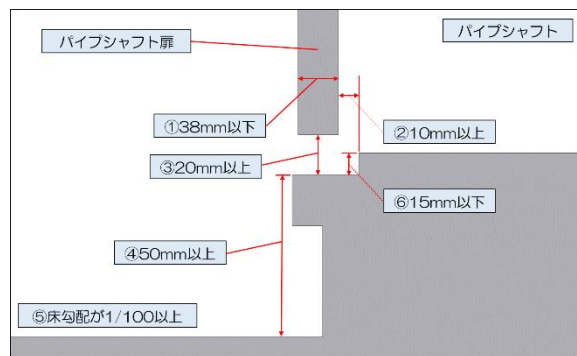
《施工方法》

1. **パイプシャフト側施工要領**（エコジョーズ設置と同時施工の場合）
潜熱回収型給湯機ドレン排水ガイドシステム施工については下記手順に従い施工して下さい。

※施工条件を満たしていない場合、施工及び排水できない可能性がありますのでご注意下さい。

1-1. 施工条件

- ①パイプシャフト扉厚みが 38mm 以下であること。
- ②パイプシャフト扉の後ろに 10mm 以上のスペースがあること。
- ③パイプシャフト下枠とシャフト扉間に 20mm 以上のスペースがあること。
- ④パイプシャフト下枠から F L までの段差が 50mm 以上あること。
- ⑤床面に 1/100 以上の勾配があること。
- ⑥戸あたりが 15mm 以下であること。
- ⑦パイプシャフト内に段落ちがある場合は、段落ち深さ 19mm 以内であること（P8（6）PS チューブの設置要領を確認下さい）。
- ⑧床面に凹凸がないこと（床面に不陸がないこと）。
- ⑨パイプシャフトから側溝までの距離が 2m 以下であること。
- ⑩雨天日は、施工を行わないこと。
- ⑪寒冷地地域、準寒冷地地域には設置できません。
国土交通省「住宅の次世代省エネルギー基準と指針」に基づく
- ⑫ガイドがパイプシャフトから垂直及び角度±30 度以内の角度で設置できること。（1 ページ目の添付図参照）
- ⑬ドレンホルダーを設置すると、パイプシャフト下部の開口面積の一部が閉塞されますので、ガス機器設置時に取り決められているパイプシャフトの換気用開口面積を再度確認して下さい。



1-2. 施工手順（ガイド単独貼り工法の場合）

施工を行う際は、施工条件及び施工上の禁止事項、注意事項を確認頂き手順に従い施工して下さい。

手順	内容
(1) ガイドの設置 手順① 施工場所及び被着体の確認を行います。床面が濡れている場合は水滴を拭き取り、床面が乾燥していることを確認します。施工場所及びガイド接着面に付着している泥、砂、異物などを取り除き清浄化します。 手順② パイプシャフト扉蝶番側にガイドの施工位置を決め仮設置します。 手順③ ガイドを切断します。ガイド先端の切欠部を側溝に合わせて下さい。ガイドを廊下の幅に合わせ、片側先端に必ず切欠部が残るように給湯機側をハサミなどを用いて切断してください。 手順④ ガイド蓋をガイドと同じ長さに切断し、全長に渡り手やローラーを使用しガイド蓋をガイドにはめ込みます。 注意 ガイドを床面に接着後ガイド蓋を取り付けると、ガイドとガイド蓋が嵌合しにくい場合があります。	ローラーでフタをはめ込んで下さい

手順⑤ 接着剤のはみ出しを防止し、仕上がりを良くするために、ガイドを仮設置した両側に養生テープを貼ります。

手順⑥ 施工する床面に指定接着剤（コニシ製ウルトラ多用途プレミアムソフト（以下、接着剤（プレミアム）と略す。））を塗布後、速やかに接着剤用コテを用いて表面をならして下さい。切欠部を側溝側に向けてガイドを速やかに貼り付けて下さい。

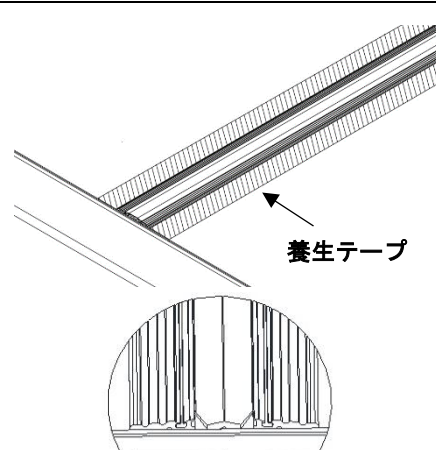
注意

養生テープを貼り付ける際には曲がりがないよう貼り付けて下さい。

接着剤が製品表面に付着した場合、布で軽く拭き取って下さい。

貼付直後は接着剤（プレミアム）が柔らかくガイドが動きやすいので、位置ズレに注意して下さい。⇒位置ズレしてしまった場合は新しい製品で始めからやり直して下さい。

手順⑦ 貼り付けた後、接着剤が乾燥する前に養生テープをはがします。



切欠部が側溝側になるように貼り付ける

(2) ホルダーベースの仮設置

手順① ガイドを指で押しても動かない事(約 20 分)を確認します。

注意

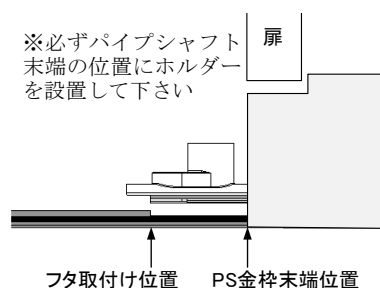
接着剤固着時間は天候により異なります。

手順② パイプシャフト金枠末端位置が右図のどちらに該当するか確認し、ガイド蓋をめくりホルダーベース設置位置を決定し、ホルダーベースを仮設置します。

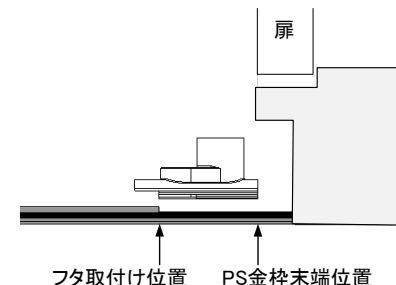
注意

パイプシャフト金枠から床面がフラットでない場合、ホルダーベース設置位置は壁面に接するのではなく、パイプシャフトの凹凸を定規等で測定し、ガイド上の PS 金枠末端位置を確認してから、ホルダーベースを設置して下さい。設置位置が壁面に接した場合、PS チューブ接着が困難となり接着不良の恐れがあります。⇒誤った設置箇所にホルダーベースを設置してしまった場合には新しい製品で始めからやり直して下さい。

PS 金枠から床面までがフラットな場合



PS 金枠から床面までに凹凸が有る場合

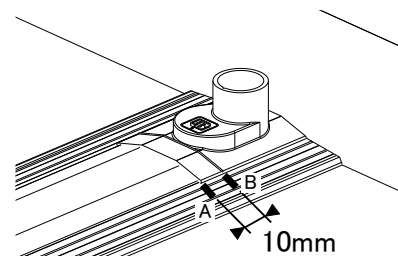


(3) ガイド蓋及びホルダーベースの施工用マーキング

ガイドにホルダーベースの先端(右図 A)からリブ(右図 B)の 2 か所の位置が分かるよう印をつけます。

注意

A から B までの位置はガイド蓋とホルダーベースが重なる部分となります。



(4) ガイド蓋の設置

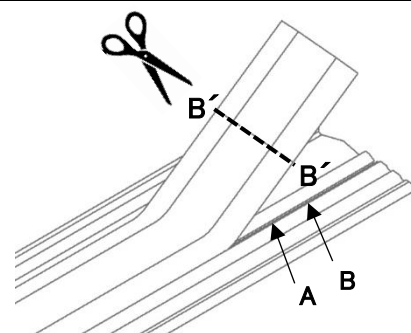
手順① ホルダーベースを一旦、取り外し、嵌合部の汚れ、異物の噛み込みや水濡れなどがないことを確認して下さい。

手順② B'の印位置に合わせてガイド蓋を切断します。

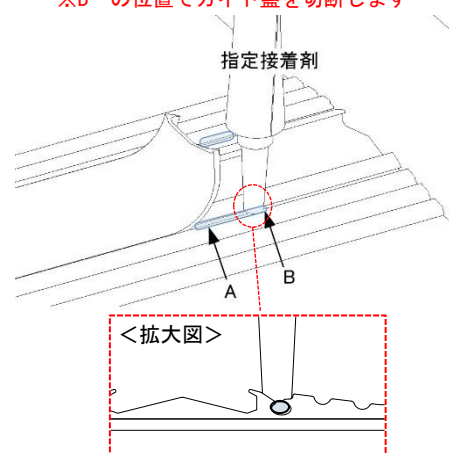
注意

ガイド蓋切断前に、必ずガイドとガイド蓋の端が側溝側で合致しているかを確認して下さい。端がずれている場合、ガイド蓋カット後に長さが合わない恐れがあります。

手順③ B位置からA位置までのガイドの嵌合部(右図、網掛け部)に接着剤(プレミアム)を充填し、ガイドとガイド蓋を接着させます。



※B'の位置でガイド蓋を切断します



(5) ホルダーベース接着固定

手順① ガイド表面や、ホルダーベース及び取付け位置に汚れ、異物の付着・噛み込みや水濡れなどないことを確認して下さい。

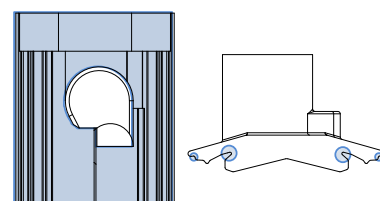
手順② ホルダーベース裏面(右図、網掛け部)に接着剤(プレミアム)を塗布します。次に、ガイドのホルダーベース取付け位置(右図、網掛け部)に接着剤(プレミアム)を充填し、さらに、ドレン排水が流れ込むのを防ぐために、ホルダーベース取付け位置のガイド蓋嵌合溝(右図、網掛け部)にも接着剤(プレミアム)を充填します。

手順③ ホルダーベース取付け位置の印に合わせてホルダーベースをガイドの上からはめ込みながら固定します。このときホルダーベースがガイド蓋に覆いかぶさる形となります。

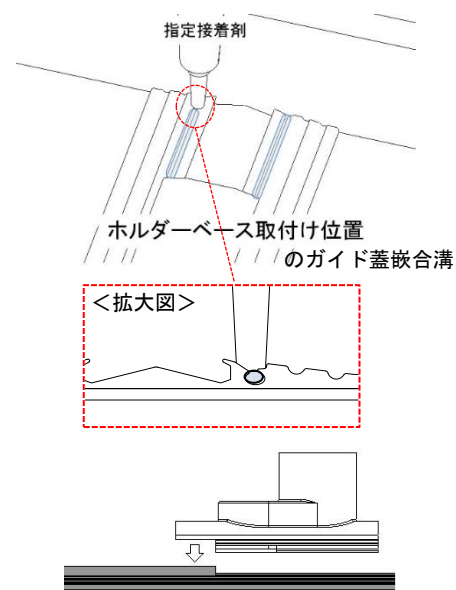
注意

接着剤が製品表面に付着した場合、布で軽く拭き取して下さい。

養生時間(約20分)は固定して下さい。固定ができていない場合、接着不良になる恐れがあります。



※接着剤は隙間がなくなるまで注入して下さい



(6) PS チューブの設置

手順① パイプシャフト前面からパイプシャフト内50mmに入った床面に12mm 相当の板材をビスなどで固定します。

下地がコンクリートの場合は、コンクリートに付着している泥、砂、異物など取り除き清浄化し、接着剤（プレミアム）で固定します。

パイプシャフト内に段落ちがある場合は、以下の注意書きに沿って施工して下さい。

注意

パイプシャフト内に段落ちがある場合、12mm 相当の板材を2枚重ねまで施工可とします。段落ち深さが7mm 以内は1枚、8mm 以上19mm 以内は2枚使用し、扉下枠から5mm 以上の高さを確保して下さい。板材同士の接着は、プレミアムを使用して下さい。

手順② PS チューブ外面の先端13mm に塩ビ用接着剤（積水化学製エスロン接着剤 No. 73）を塗布します。PS チューブには凸部、ホルダーベースには凹部があり、斜めにならないように凹凸を合わせて接続固定します。

注意

通水経路確保のため、必ず凹凸を合わせて接続して下さい。

ホルダーベースへの接続は斜めから差し込んだ場合、ホルダーベース全体に負荷がかかり、接着部の外れの原因となります。

ホルダーベースとPS チューブの接着には必ず塩ビ用接着剤を使用し、固着時間は接着剤に記載の使用方法に従って下さい。

手順③ PS チューブをパイプシャフト扉開閉の妨げにならない程度に余裕を持たせ、あらかじめパイプシャフト内に設置した板材上に片サドル（未来工場製 KT-8CN）を用いて仮止めします。

注意

仮止めの際、PS チューブが逆勾配にならないよう十分確認して下さい。

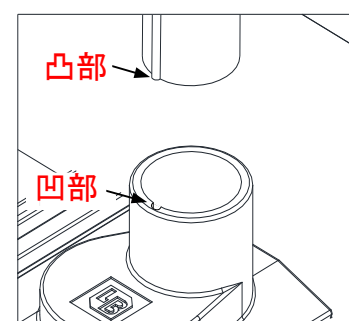
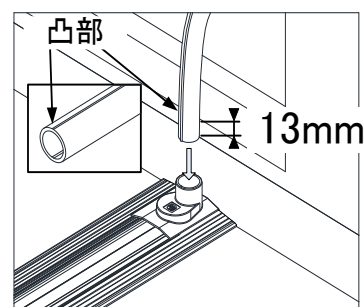
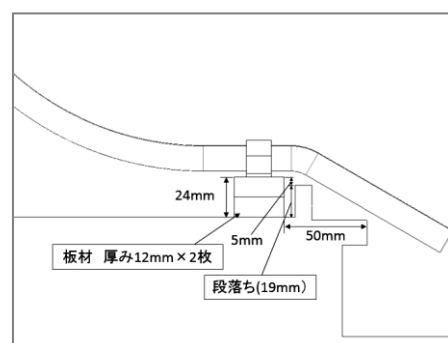
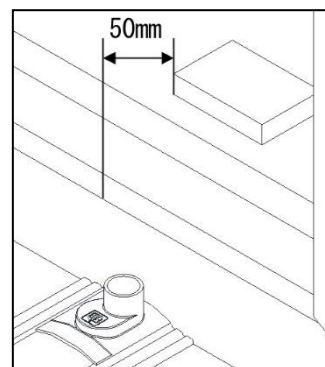
仮止めの際、PS チューブ著しく扁平したり、折れ曲がったりしていないことを確認して下さい。

手順④ パイプシャフト内で逆勾配や著しい扁平、折れ曲がりがないような長さでPS チューブ（内径φ12、外径φ15.5）を切断します。扉開閉にてホルダーベースが動かない事、PS チューブと扉が過度に接触しないことを確認し、片サドルを固定します。

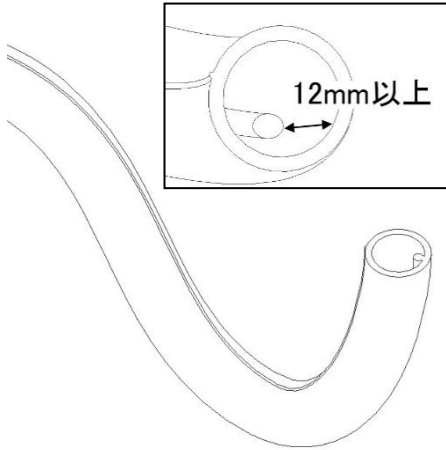
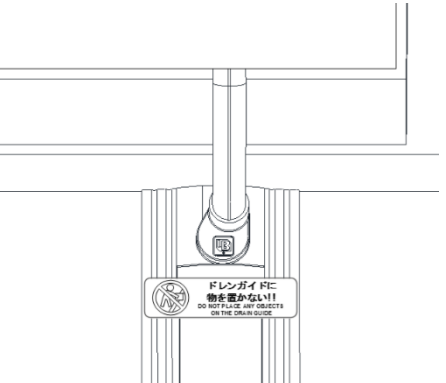
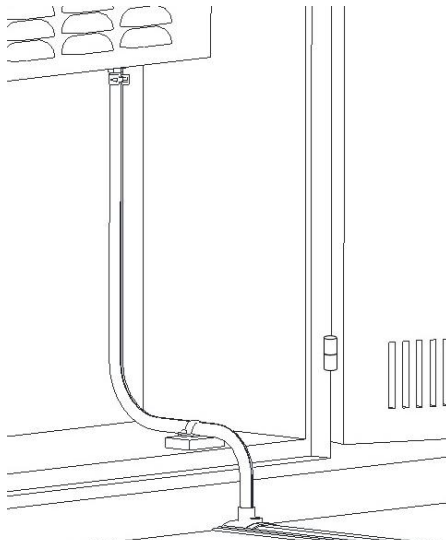
注意

PS チューブを短く切断してしまった場合、設置できない恐れがありますので新しい製品で始めからやり直して下さい。

扉開閉によりホルダーベース全体に負荷がかかり、接着部の外れの原因になりますので十分確認して下さい。⇒接着部が剥がれてしまった場合には新しい製品で始めからやり直して下さい。



※必ず凹凸を合わせて接続して下さい

(7) 通水確認 PS チューブへ水 100m l 程度をゆっくり流し込み、側溝側へ問題なく水が通水されているか確認して下さい。 注意 通水されない場合、側溝以外から水が漏れるなどした場合には、施工をやり直して下さい。	
(8) PS チューブと給湯機の接続 手順① PS チューブ内径リブを片端側のみニッパー(小型版)などを用いて 12mm 以上切除します。 手順② PS チューブにクランプ、PS チューブ用専用継手一式(継手とナット)を取り付け給湯機のドレン接続口に接続します。 注意 内径リブの切り残しがある場合、継手が接続出来ない場合がありますので再度切除して下さい。 PS チューブ切断時や内径リブ切除の際にチューブ本体を傷つけないよう注意して下さい。⇒傷つけてしまった場合には新しい製品で始めからやり直して下さい。 継手よりドレン水のしみ漏れが懸念される場合、ネジ部にシールテープを使用し、対応して下さい。	 ※切断したリブがホルダー側に混入しない様、切断時はチューブを折り曲げて下さい
(9) 注意喚起ラベルの貼付け 最後に注意喚起ラベルの中央がホルダーベースの末端位置になる位置に貼り付けます。空気が残らないように手で数回ラベルをなぞるようにします。 ※貼付け詳細については別紙 1 参照	
右図のような施工状態になれば設置完了です。 ※製品は-5～+40℃の環境温度の範囲内でご使用下さい。	

《施工方法》

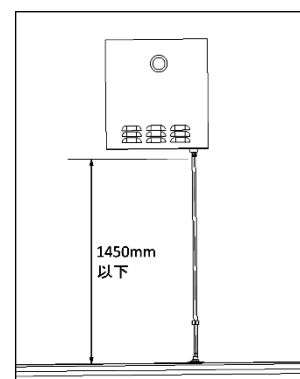
2. バルコニー側施工要領（エコジョーズ設置と同時施工の場合）

潜熱回収型給湯機ドレン排水ガイドシステム施工については下記手順に従い施工して下さい。

※施工条件を満たしていない場合、施工及び排水できない可能性がありますのでご注意下さい。

2-1. 施工条件

- ①床面に 1/100 以上の勾配があること。
- ②床面に凹凸がないこと（床面に不陸がないこと）。
- ③給湯機設置壁面から側溝までの距離が 2m 以下であること。
- ④雨天日は、施工を行わないこと。
- ⑤寒冷地地域、準寒冷地地域には設置できません。
国土交通省「住宅の次世代省エネルギー基準と指針」に基づく
- ⑥ガイドが給湯機設置壁面から垂直及び角度±30 度以内の角度で設置できること(1 ページ目の添付図参照)。
- ⑦床面から給湯機のドレンチューブ接続口までの高さが 1450 mm 以下であること。



2-2. 施工手順（ガイド単独貼り工法の場合）

施工を行う際は、施工条件及び施工上の禁止事項、注意事項を確認頂き手順に従い施工して下さい。

手順	内容
(1) ガイドの設置 手順① 施工場所及び被着体の確認を行います。床面が濡れている場合は水滴を拭き取り、床面が乾燥していることを確認します。施工場所及びガイド接着面に付着している泥、砂、異物などを取り除き清浄化します。 手順② ガイドを切断します。ガイド先端の切欠部を側溝に合わせて下さい。ガイドをバルコニーの幅に合わせ、片側先端に必ず切欠部が残るように給湯機側をハサミなどを用いて切断してください。 手順③ ガイド蓋をガイドと同じ長さに切断し、全長に渡り手やローラーを使用しガイド蓋をガイドにはめ込みます。 手順④ 接着剤のはみ出しを防止し、仕上がりを良くするために、ガイドを仮設置した両側に養生テープを貼ります。 注意 ガイドを床面に接着後ガイド蓋を取り付けると、ガイドとガイド蓋が嵌合しにくい場合があります。	ローラーでフタをはめ込んで下さい 養生テープ

手順⑤ 施工する床面に指定接着剤（コニシ製ウルトラ多用途プレミアムソフト（以下、接着剤（プレミアム）と略す。））を塗布後、速やかに接着剤用コテを用いて表面をならして下さい。切欠部を側溝側に向けてガイドを速やかに貼り付けて下さい。

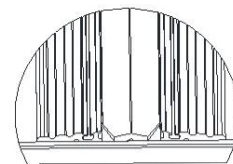
注意

養生テープを貼り付ける際には曲がりがないよう貼り付けて下さい。

接着剤が製品表面に付着した場合、布で軽く拭き取って下さい。

貼付直後は接着剤（プレミアム）が柔らかくガイドが動きやすいので、位置ズレに注意して下さい。⇒位置ズレしてしまった場合は新しい製品で始めからやり直して下さい。

手順⑥ 貼り付けた後、接着剤が乾燥する前に養生テープをはがします。



切欠部が側溝側になるように貼り付ける

(2)ホルダーベースの仮設置

手順① ガイドを指で押しても動かない事(約 20 分)を確認します。

注意

接着剤固着時間は天候により異なります。

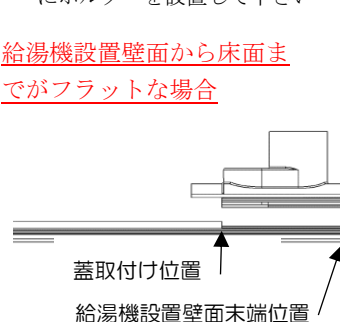
手順② 壁面に接するガイドの末端位置が右図のどちらに該当するか確認し、ガイド蓋をめくりホルダーベース設置位置を決定し、ホルダーベースを仮設置します。

注意

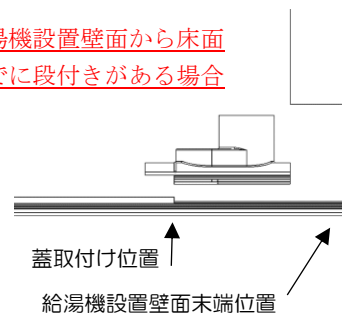
給湯機設置の壁面と床面が直角ではなく段付きになっている場合、ホルダーベースは奥行きの方に接するのではなく、奥行きを定規等で測定し、ガイド上の給湯機設置の壁面位置を確認してから、ホルダーベースを設置して下さい。設置位置が奥行きの方に接した場合、PS チューブ接着が困難となり接着不良の恐れがあります。⇒誤った設置箇所にはホルダーベースを設置してしまった場合には新しい製品で始めからやり直して下さい。

※必ず給湯機設置壁面の末端の位置にホルダーを設置して下さい

給湯機設置壁面から床面までがフラットな場合



給湯機設置壁面から床面までに段付きがある場合

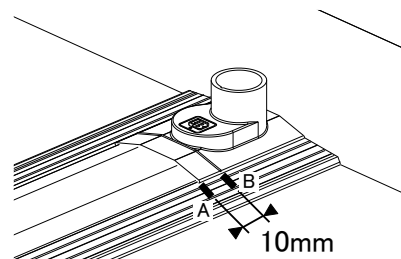


(3)ガイド蓋及びホルダーベースの施工用マーキング

ガイドにホルダーベースの先端(右図 A)からリブ(右図 B)の 2 か所の位置が分かるよう印をつけます。

注意

A から B までの位置はガイド蓋とホルダーベースが重なる部分となります。



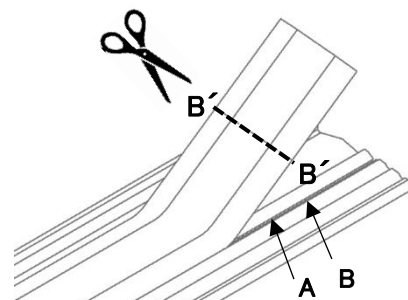
(4)ガイド蓋の設置

手順① ホルダーベースを一旦、取り外し、嵌合部の汚れ、異物の噛み込みや水濡れなどが無いことを確認して下さい。

手順② B' の印位置に合わせてガイド蓋を切断します。

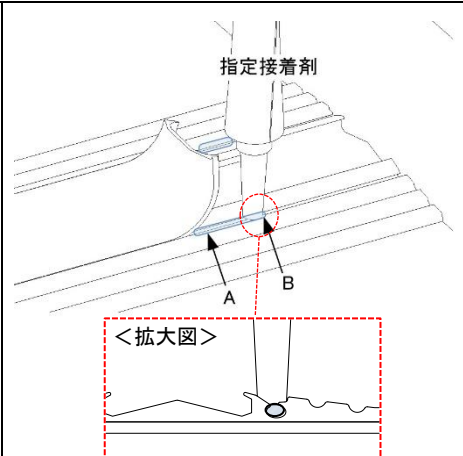
注意

ガイド蓋切断前に、必ずガイドとガイド蓋の端が側溝側で合致しているかを確認して下さい。端がずれている場合、ガイド蓋カット後に長さが合わなくなる恐れがあります。



※B' の位置でガイド蓋を切断します

手順③ B位置からA位置までのガイドの嵌合部(右図、網掛け部)に接着剤(プレミアム)を充填し、ガイドとガイド蓋を接着させます。



(5) ホルダーベース接着固定

手順① ガイド表面や、ホルダーベース及び取付け位置に汚れ、異物の付着・噛み込みや水濡れなどないことを確認して下さい。

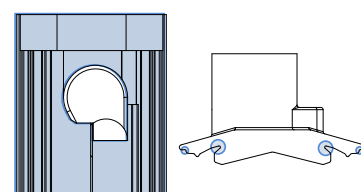
手順② ホルダーベース裏面(右図、網掛け部)に接着剤(プレミアム)を塗布します。次に、ガイドのホルダーベース取付け位置(右図、網掛け部)に接着剤(プレミアム)を充填し、さらに、ドレン排水が流れ込むのを防ぐために、ホルダーベース取付け位置のガイド蓋嵌合溝(右図、網掛け部)にも接着剤(プレミアム)を充填します。

手順③ ホルダーベース取付け位置の印に合わせてホルダーベースをガイドの上からはめ込みながら固定します。このときホルダーベースがガイド蓋に覆いかぶさる形となります。

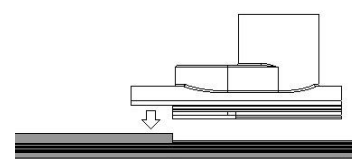
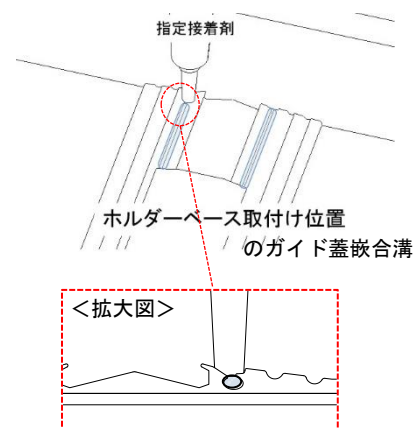
注意

接着剤が製品表面に付着した場合、布で軽く拭き取して下さい。

養生時間(約20分)は固定して下さい。固定ができていない場合、接着不良になる恐れがあります。



※接着剤は隙間がなくなるまで注入して下さい



(6) PS チューブの設置

手順① PS チューブ外面の先端 13mm に塩ビ用接着剤（積水化学製エスロン接着剤 No. 73）を塗布します。PS チューブには凸部、ホルダーベースには凹部があり、斜めにならないように凹凸を合わせて接続固定します。

注意

通水経路確保のため、必ず凹凸を合わせて接続して下さい。

ホルダーベースへの接続は斜めから差し込んだ場合、ホルダーベース全体に負荷がかかり、接着部の外れの原因となります。

ホルダーベースと PS チューブの接着には必ず塩ビ用接着剤を使用し、固着時間は接着剤に記載の使用方法に従って下さい。

手順② ホルダーベースから給湯機ドレンチューブ接続口までたるみのないように PS チューブ（内径φ12、外径φ15.5）を切断します。

手順③ PS チューブの給湯機とホルダーベースの中間地点に台付サドル（未来工業製 VPS-13M、VPS-13G、VPS-13DB の何れか）で以下注意書きの要領で 1 ヵ所固定します。

注意

PS チューブは台付サドルとの間に隙間の無いよう以下の要領で固定してください。

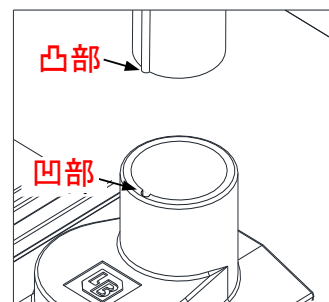
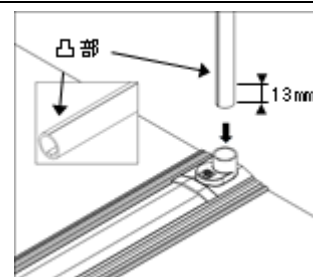
手順① PS チューブの余尺部分をハサミで約 1 cm カットします。

手順② カットした PS チューブを外周の突起に沿ってハサミでカットし、背割りの状態にします。

手順③ PS チューブの、台付サドルに固定する部分に背割りした PS チューブを被せ、そのまま上から台付サドルのカバーを被せます。

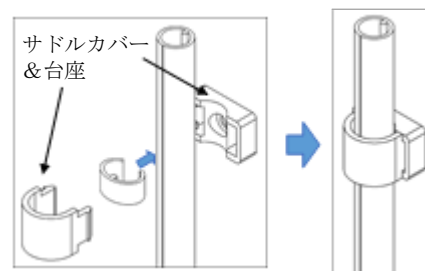
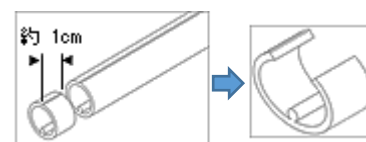
PS チューブを短く切断してしまった場合、設置できない恐れがありますので新しい製品で始めからやり直して下さい。

接着部が剥がれてしまった場合には新しい製品で始めからやり直して下さい。



※必ず凹凸を合わせて接続して下さい

<PS チューブの台付サドルへの固定方法>



(7) 通水確認

PS チューブから水 100ml 程度をゆっくり流し込み、側溝側へ問題なく水が通水されているか確認して下さい。

注意

通水されない場合、側溝以外から水が漏れるなどした場合には、施工をやり直して下さい。

(8) PS チューブと給湯機の接続

手順① PS チューブ内径リブを片端側のみ小型のニッパーなどを用いて 12mm 以上切除します。

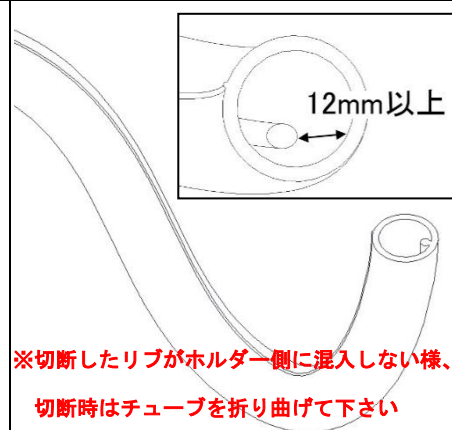
手順② PS チューブにクランプ、PS チューブ専用継手一式（継手とナット）を取り付け給湯機のドレン接続口に接続します。

注意

内径リブの切り残しがある場合、継手が接続出来ない場合がありますので再度切除して下さい。

PS チューブ切断時や内径リブ切除の際にチューブ本体を傷つけないよう注意して下さい。⇒傷つけてしまった場合には新しい製品で始めからやり直してください。

継手よりドレン水のしみ漏れが懸念される場合、ネジ部にシールテープを使用し、対応して下さい。

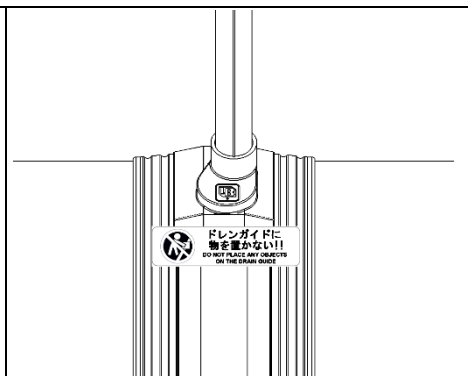


※切断したリブがホルダー側に混入しない様、切断時はチューブを折り曲げて下さい

(9) 注意喚起ラベルの貼付け

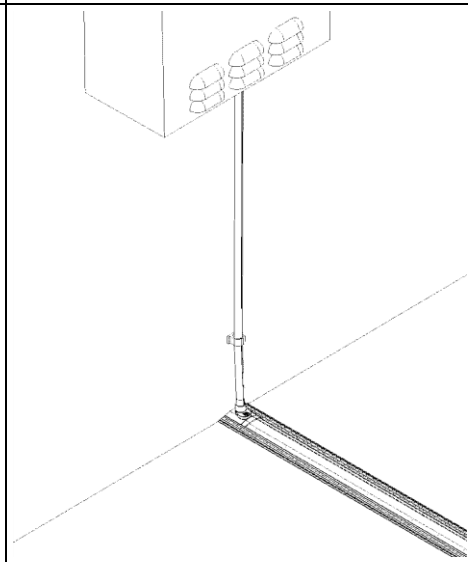
最後に注意喚起ラベルの中央がホルダーベースの末端位置になる位置に貼り付けます。空気が残らないように手で数回ラベルをなぞるようにします。

※貼付け詳細については別紙 1 参照



右図のような施工状態になれば設置完了です。

※製品は-5～+40℃の環境温度の範囲内でご使用下さい。



弊社製ドレン排水ガイドの施工動画をご覧ください。

QR コードをご利用下さい⇒

<https://youtu.be/rZ6d6TMqwP0>



注意喚起ラベル説明書

ラベルの目的

ドレン排水ガイドの排水性能を維持するため、ドレン排水ガイドの上に荷物等が置かれないよう明示すること

サイズ: 20mm × 75mm



図1 ラベルデザイン

ラベル貼付位置

ラベルの中央がホルダーベースの末端位置になる位置に貼り付けること



図2 ラベル貼付例(1)

図3 ラベル貼付例(2)